

2000年9月25日

県民の政治意識  
「第11回モニター調査」

報告書

(2000年8月28日~8月30日調査)

調査の設計 1

概要 3

単純集計 5



長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## 調査の目的

1995年夏の参院選直後に始まったこのモニター調査は、年2回実施で5周年を迎え第11回を数える。この間、内閣は村山氏、橋本氏、小渕氏、そして現在の森氏へとバトンタッチされ、連立の組み合わせも変遷してきた。前回の2000年3月の第10回調査時点から半年間で、小渕首相の突然の発病による退陣 - 森首相への交代、衆院選の自民党後退と自公保連立の絶対多数維持と様変わりしたものの、政治全体の再編成の方向は、いまひとつ鮮明になっていない。

長引く景気低迷の一方で、情報技術（IT）の飛躍的な広がり、経済の構造変化が進行しているなかで、政治の指導性を見極める世論のまなざしはどのようなのか。モニターの継続的な期待や要望を探り、県民の政治意識の変化を追う。

## 調査の設計

調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、電話で回答を聞く方式。

### 【モニター 継続的な調査対象者】

1995年6月の参院選直前、県下の満20歳以上の1000人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち678人を指定し、選挙直後の7月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第1回モニター調査」と位置付け、それ以降も男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定。96年2月に第2回調査を行い、以降は半年間隔で年2回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補充し、現在の登録数は500人。

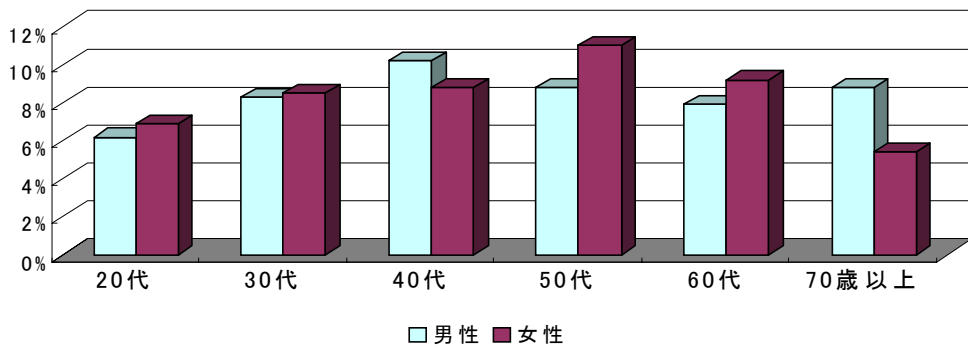
調査時期 2000年8月28日～30日

有効回収数 480人（96.0%）

◆ サンプルの内訳

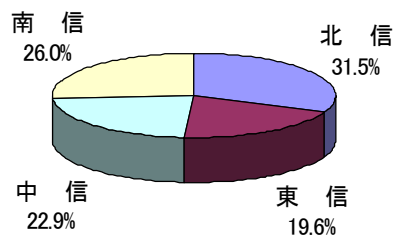
【性別と年代】

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
男性	241	30	40	49	42	38	42
	50.2%	6.2%	8.3%	10.2%	8.8%	7.9%	8.8%
女性	239	33	41	42	53	44	26
	49.8%	6.9%	8.5%	8.8%	11.0%	9.2%	5.4%



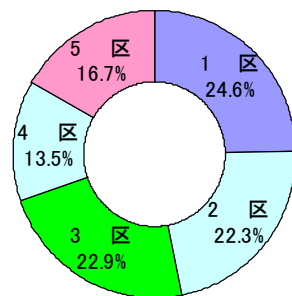
【地域別】

北信	151	31.5%
東信	94	19.6%
中信	110	22.9%
南信	125	26.0%



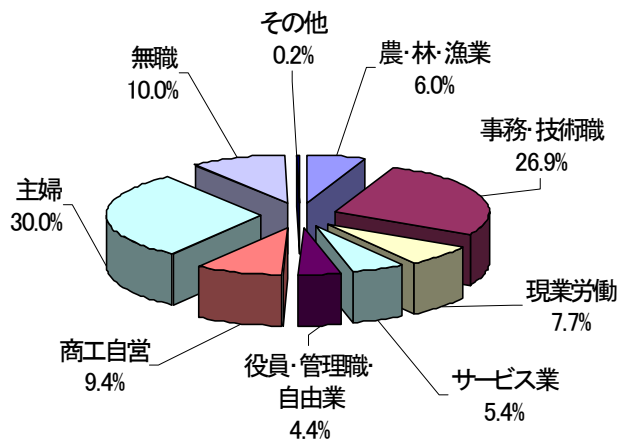
【選挙区別】

1区	118	24.6%
2区	107	22.3%
3区	110	22.9%
4区	65	13.5%
5区	80	16.7%



【職業別】

農・林・漁業	29	6.0%
事務・技術職	129	26.9%
現業労働	37	7.7%
サービス業	26	5.4%
役員・管理職・自由業	21	4.4%
商工自営	45	9.4%
主婦	144	30.0%
無職	48	10.0%
その他	1	0.2%



## Ⅱ 結果の概要

### 政治の満足度

今の政治に満足する人は総体で 13%。不満足の方は 73%と、前回よりは減少したものの、いぜん高水準だ。不満足の理由（自由回答）は、おおまかに分類して「政治、政治家に関すること」が4割近くにのぼってトップ。「景気、雇用に関すること」「森首相・内閣に関すること」が上位だった。

### 内閣支持

森内閣を支持する人は 12%、支持しない人は 60%。歴代内閣の中で、かなり厳しい評価だ。支持の理由は「自民党中心の内閣」がトップ、次いで「自公保連立」。森首相の政治姿勢や魅力は低水準にとどまった。支持しない理由では「政策に期待できない」がかなりの高率で首位。2番目に「首相の政治姿勢」が挙げられた。急病で退陣の小淵氏から政権を引き継ぎ、総選挙、沖縄サミットを乗り切ったものの“神の国”発言などで問われた宰相の資質論議を払拭できていない結果になった。

望ましい政権は「自民党を除く民主党中心の連立」が最も多く「自民党、民主党の連立」が続くが「望ましい政権はない」が事実上トップを占める。

### 政党支持

支持する政党は民主党が 27.7%で引き続きトップ、2位は自民党の 20.8%で、前回に比べて差が広がった。公明党が共産党、社民党をわずかに抑えて3位に浮上した。支持政党の評価する点は「政策の現実性」「主義主張の一貫性」「長期的な視点」という上位に変動はなかった。今後の政党再編成には、期待しないが4割を超え、期待は3割に届かない。衆院選の制度については、旧来の“中選挙区回帰”が最も多い。

### 無党派層の評価

支持政党なし層は 30.4%と、いぜん各政党支持率を上回ったが、比率は数ポイント落ち込んだ。無党派層に対する評価では「政治、政党への不満、不信の現れ」と、一定の理解を示す人が飛びぬけて多かった。しかし、二番手には「政治の対して無関心、無責任」という批判的な評価が続き、前回同様の結果だった。

## 国政の重要課題

政治の最重要課題として、5つの項目に絞って質した結果は「景気回復・雇用確保」が飛びぬけた首位で「行財政改革」「安定的な年金・介護」の上位も、前回と変わらない。そうした認識をうけて、景気の現況については「不況のまま足踏み」と受けとめている人が6割近くにのぼり「回復の兆しがある」という人は2割半ばにとどまり、全国レベルの回復感と県下レベルの冷え込み持続感との“温度差”がある。その一方で、景気対策のための国債増発には、6割半ばが減額への転換を求め、公共事業の見直しには、全体として8割が賛成しており、これまでのような景気対策の続行には、全般的に慎重な反応が浮き彫りになった。

## 日本の将来の不安

少年犯罪をめぐる深刻な受けとめの事態が続く中で「青少年の教育・育成」が一挙に首位に挙げられ、二番手には「犯罪の増加」が続き、身近な不安感が噴きあがったかたちだ。将来的には当面「景気」の懸念が薄れる一方で、3位には「財政赤字」、4位は「社会保障」と今後、持続的な取り組みが求められる課題に対する不安感が増している結果になった。

### Ⅲ 単純集計

#### ◆「今の政治に不満」減ったが、なお7割台

問1 あなたは、国民の期待や信頼に照らしてみても、今の政治に満足していますか		
大いに満足	1	0.2%
どちらかといえば満足	61	12.7%
どちらかといえば不満足	251	52.3%
全く不満足	99	20.6%
なんともいえない	68	14.2%

#### ◆不満足の原因「政治・政治家に関して」トップ

問2 今の政治に不満足という最も大きな理由は何ですか		
政治・政治家	134	38.3%
景気・雇用	59	16.9%
森首相・内閣	39	11.1%
教育・福祉・その他の政策	21	6.0%
財政・税	15	4.3%
その他	5	1.4%
特になし	77	22.0%

#### ◆政治の重要課題「景気・雇用」飛びぬけて

問3 あなたは、国の政治の課題として、次の項目の中で、最も重要なのは何だと思えますか		
景気回復・雇用確保	230	47.9%
行財政の改革	103	21.5%
安定的な年金・介護	87	18.1%
教育の見直し	53	11.0%
安全保障問題	6	1.3%
なんともいえない・わからない	1	0.2%

#### ◆森内閣支持12% 不支持60%

問4 あなたは、森内閣を支持しますか		
支持する	55	11.5%
支持しない	289	60.2%
なんともいえない	136	28.3%

◆支持する理由「自民党中心の内閣」最も多く

問 5 支持する理由は何ですか(2つ以内)		
自民党中心の内閣だから	27	49.1%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	26	47.3%
ほかに適当な人がいないから	23	41.8%
政策に期待できるから	11	20.0%
首相の政治姿勢が好ましいから	8	14.5%
森喜朗さんが首相だから	4	7.3%
なんとなく	1	1.8%
その他	0	0.0%

◆支持しない理由「政策に期待できぬ」トップ

問 6 支持しない理由は何ですか(2つ以内)		
政策に期待できないから	187	64.7%
首相の政治姿勢が好ましくないから	131	45.3%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	114	39.4%
森喜朗さんが首相だから	69	23.9%
自民党中心の内閣だから	40	13.8%
ほかに適当な人がいるから	11	3.8%
なんとなく	8	2.8%
その他	2	0.7%

◆望ましい連立は「自民除く民主中心」「自民・民主」も多め

問 7 あなたは、本来どんな政権が望ましいと考えていますか		
望ましい政権はない	145	30.2%
自民党を除く民主党中心の連立	113	23.5%
自民党・民主党の連立	73	15.2%
自民党単独	58	12.1%
今の自民党・公明党・保守党の連立	45	9.4%
その他	34	7.1%
なんともいえない・わからない	12	2.5%

### ◆民主トップ、自民にリード広げる 公明3位に浮上

問 8 あなたは、どの政党を支持しますか		
民主党	133	27.7%
自民党	100	20.8%
公明党	27	5.6%
共産党	24	5.0%
社民党	24	5.0%
自由党	17	3.5%
保守党	1	0.2%
その他の政党	1	0.2%
支持する政党はない	146	30.4%
答えたくない	7	1.5%

### ◆支持政党の評価「現実性」「一貫性」「長期的視点」揺るがず

問 9 あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)		
政策の現実性	108	33.0%
主義主張の一貫性	87	26.6%
長期的な視点	87	26.6%
安定感・頼りがい	70	21.4%
清潔なイメージ	63	19.3%
革新的な姿勢	56	17.1%
党首の魅力	45	13.8%
開かれた党運営	44	13.5%
中道的な姿勢	31	9.5%
保守的な姿勢	21	6.4%
その他	6	1.8%
なんとなく	1	0.3%

### ◆無党派層の評価「政治不信の現れ」群を抜く

問 10 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか(2つ以内)		
政治・政党への不満、不信の現われ	310	64.6%
政治に対して無関心、無責任	189	39.4%
政党がもっとがんばれば減っていく	143	29.8%
個人中心の選挙が背景にある	64	13.3%
自由に1票を行使している	56	11.7%
政治を不安定にさせている	53	11.0%
棄権が多く投票率を下げる一因	53	11.0%
政治に関心の高い人が多い	24	5.0%
選挙を面白くさせる波乱要素	10	2.1%
その他	9	1.9%
なんともいえない・わからない	7	1.5%



◆政党の再編成「期待する」28% 「期待せず」41%

問 11 あなたは、政党が統一や分裂をしたり、新しい政党が生まれたりする政党の再編成が今後行われることを期待しますか		
期待する	132	27.5%
期待しない	198	41.3%
なんともいえない	150	31.3%

◆衆院選の制度「現行の小選挙区制」支持振るわず

問 12 あなたは、衆議院の選挙制度について、次の中ではどれが好ましいですか		
以前の中選挙区制	195	40.6%
新しい制度	114	23.8%
今の小選挙区・比例代表	71	14.8%
なんともいえない	100	20.8%

◆いまの景気「不況のまま足踏み」6割近く

問 13 あなたは、いまの景気はどんな段階だと思いますか		
不況のまま足踏みしている	277	57.7%
不況の底から回復の兆しがある	120	25.0%
不況がさらに深刻化している	45	9.4%
不況から回復し拡大している	13	2.7%
好況が続いている	1	0.2%
なんともいえない	24	5.0%

◆消費税「条件つき引き上げ」に一定の理解

問 14 あなたは、今後の行財政のあり方について、どう考えますか		
A 消費税の税率引き上げ(2つ以内)		
原則的に賛成	51	10.6%
目的税にするなら賛成	140	29.2%
税率次第で賛成	69	14.4%
一定の品目を除外するなら賛成	178	37.1%
どちらかといえば反対	188	39.2%
全く反対	108	22.5%
なんともいえない	11	2.3%

◆景気対策の国債「減額へ転換」6割半ば

B 景気対策のための国債発行		
これ以上の額の発行でもよい	10	2.1%
現在の程度の発行ならよい	39	8.1%
国債残高を減らす方へ転換すべきだ	319	66.5%
なんともいえない	112	23.3%

◆公共事業「見直し積極的に」5割半ば

C 公共事業の見直し		
積極的に行うべきだ	264	55.0%
どちらかといえば行う方がよい	130	27.1%
どちらかといえば行わない方がよい	44	9.2%
全く行うべきでない	3	0.6%
なんともいえない	39	8.1%

◆不振企業への国の支援 7割が否定的

D 金融を含む不振企業への国の支援		
積極的に行うべきだ	20	4.2%
どちらかといえば行う方がよい	55	11.5%
どちらかといえば行わない方がよい	201	41.9%
全く行うべきでない	139	29.0%
なんともいえない	65	13.5%

◆日本の将来の不安「青少年」首位に 続く「犯罪」「財政」「福祉」

問 15 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか(5つ以内)		
青少年の教育・育成	215	44.8%
犯罪の増加	212	44.2%
ふくれる財政赤字	206	42.9%
社会保障・福祉の水準低下	197	41.0%
地球環境・自然破壊	190	39.6%
政治の不安定・不信	189	39.4%
景気の方行	186	38.8%
高齢化と少子化	177	36.9%
官僚依存型の社会の体質	146	30.4%
モラルの低下	138	28.7%
雇用の不安	129	26.9%
経済の国際競争力の低下	117	24.4%
進まない行政改革	109	22.7%
国の安全保障	66	13.8%
エネルギー不足・不安	42	8.8%
女性の地位向上の遅れ	24	5.0%
とくにない	1	0.2%